

平成25年度 原子力友の会 総会式次第

進行 羽倉

- 0. 幹事会の部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12:30-14:00
- 1. 総会の部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14:00-15:30
 - 1) 挨拶 (本多)
 - 2) 来賓挨拶 (後藤田氏)
 - 3) 前回議事録の確認・平成24年度活動報告 (本多、松本)
 - 4) 原子力安全工学科・原子力研究所の現状・将来計画の紹介 (松本)
 - 5) 平成24年度会計報告及び監査報告 (内山、幅)
 - 6) 会員名簿の確認／規約の改正 (内山)
 - 7) 平成25年度活動計画 (羽倉)
 - 8) その他、意見交換
- 2. 講演会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15:30-16:00
「ドイツにおける原子炉廃止措置の現状」内山孝文
- 3. フリートーク／施設見学(希望者)・・・・・・・・・・16:00-17:00
- 4. 懇親会 (懇親会費 4,000円) (担当:内山)・・・・・・・・18:00-20:00

配布資料

- 1. 第1回総会議事録案
- 2. 平成24年度活動報告
- 3. 会計報告書
- 4. 平成25年度活動計画
- 5. 規約改正案
- 6. 会員名簿 (確認後、回収)

原子力友の会 OB 会 総会（第 1 回） 議事録（案）

開催日時：平成 24 年 5 月 12 日（土）14：00～15：00

開催場所：東京都市大学原子力研究所

出席者：松下正勝（武蔵工業会）

本多庸郎、高橋久永、山野俊也、大森茂美、大枝 伸、幅 聡、泉 正憲、三木陽介、
染谷洋二、羽倉尚人、吉田直弘、日比野正明、前川尚己、日暮浩一、神木雅樹、
橋爪宏明、小澤朋紀、松本哲男、内山孝文（順不同、敬称略、全 20 名）

配布資料：1. 平成 24 年度 原子力友の会 OB 会 総会式次第

2. 原子力研究所パンフレット

2. 原子力友の会 OB 会 会則

3. 原子力友の会 OB 会 会員名簿

4. 会計報告書（2011 年度）

5. 事業計画・企画等 なんでもご意見アンケート

議題及び報告（進行：松本）

1. 挨拶

本多会長より挨拶があった。まず初めに、本会の会長就任の経緯の紹介があった。最後に、本会を盛り立てていきたいので本会への積極的な出席をしてほしい旨の協力依頼があった。

2. 来賓あいさつ

武蔵工業会の松下正勝様より来賓あいさつを頂戴した。また、武蔵工業会よりお祝い金 1 万円を頂戴した。

原子力安全工学科主任教授の持木先生より挨拶があった。その挨拶の中で、原子力安全工学科が設立し 5 期生を迎え、昨年度、初めての卒業生を輩出した旨の報告があった。あわせて、原子力安全工学科の学科紹介と就職活動への支援協力依頼があった。

3. 平成 23 年度 OB 会活動報告（会長及び支部長等）

平成 24 年 4 月 21 日に開催された武蔵工業会総会に副会長の山野氏と出席した旨と武蔵工業会の現状について報告があった。

4. 平成 23 年度会計報告及び監査報告（内山幹事、幅監事）

内山より平成 23 年度会計法報告があった。また、監査の幅より平成 23 年度の会計報告について問題がない旨の監査報告があった。

5. 平成 24 年度事業計画（意見等聴取）

資料 5 を配布し平成 24 年度の事業計画の意見聴衆を行った。

取

6. その他

① 学生支援について

学生支援について、本会の OB 会賞を設けて、学科の成績優秀な学生 1 名に授けられたらどうかとの提案があり実施する方向で検討することとした。なお、受賞者の決定は、学科内の先生方に委任にすることとした。なお、共同原子力専攻に対する賞については保留することとした。

上記、総会后、以下を開催した。

○講演会 15:00~16:00

「原子力研究所50年の歩み」 講演者：教授 松本哲男

○施設見学会 16:00~17:00

原子炉室、RI 実験室等 案内人：内山孝文、三橋偉司、松本哲男

○懇親会 17:00~19:00

以上

平成24年度 活動報告

1. 時系列

- 2012年5月12日(土) 第1回総会
2012年2月7日(木) 原子力安全工学科・卒論発表会【学科行事】
2013年3月19日(火) 学位授与式の中で友の会賞を授与
2013年6月8日(土) 第2回総会【2013年度行事】

2. トピックス

○友の会賞の授与

原子力安全工学科の卒業論文発表会において優れた発表をした学生に対して原子力友の会賞を授与した(5,000円相当の図書券×3件)。

- ・ 審査は、原子力安全工学科の先生方により実施
- ・ 学位授与式(学科別ガイダンス)において、本多会長(代理松本)より受賞学生に対して授与
- ・ 共同原子力専攻については、早稲田側への配慮(知的財産に関する取り扱いについて懸念があるとされたため)もあり、今回は見送り
- ・ 卒業生(社会人)に発表会の案内をし、聴講していただくという案については、今回は見送り

【受賞発表紹介】

受動安全の強化を目指した炉内新型注水技術の開発

原子力工学コース 三原裕貴

川崎大気粒子状物質における放射性セシウムの分布と挙動

放射線工学コース 中町 鴻

構造物振動を利用した発電手法に関する研究

政策・耐震コース 山岸 昇平

以上

賞 状

原子力友の会 OB 会

卒業論文優秀発表者賞

中町 鴻 殿

あなたは平成 24 年度に本学科が実施した卒業論文発表会に於いて頭書のとおり優秀な成果を収められましたので之を賞します

平成 25 年 3 月 19 日

原子力友の会 OB 会

会長 本多庸郎

2013 年 6 月 8 日

会計報告書

年度： 2012年度 団体名： 原子力友の会0B会

報告期間：平成24年4月1日～平成25年3月31日

収入の部		
科目	金額	摘要
前年度繰越金	245,280	
会費振込（4月）	3,000	送金：1名 ¹⁾
会費振込（5月）	9,000	直接手渡：3名 ²⁾
武蔵工業会お祝い金	10,000	武蔵工業会：松下様から
懇親会費繰越金	17,000	
会費振込（6月）	3,000	送金：1名 ³⁾
受取利子（1）	1	
受取利子（2）	17	
受取利子（3）	22	
会費徴収（原子力安全工学科）	108,000	新規入会：36名
合計	395,320	

支出の部		
科目	金額	摘要
設立総会出席のお礼状と記念写真の郵送費	11,000	内山立替
原子力友の会0B会賞	15,000	図書券5,000円 各コース1名ずつ ⁴⁾ 計3名
賞状用紙代	580	
合計	26,580	

差引収支

368,740 円

備考
会費：3000円／名
1)：鈴木範明様
2)：日暮浩一様、日比野正明様、神木雅樹様
3)：岡本力様
4)：受賞者：三原裕貴様、中町鴻様、山岸昇平様

確認	作成
幅	内山
	

平成25年度 活動計画

1. 時系列

- 2013年6月8日 (土) 第2回総会
2013年 月 日 () 第1回見学会(講演会)
2013年11月 日 () 学園祭@世田谷キャンパスに合わせた懇親会
2014年2月 日 () 原子力安全工学科・卒論発表会【学科行事】
2014年3月19日 (水) 学位授与式:第2回「友の会賞」を授与
2014年5月 日 (土) 第3回総会【2014年度行事】

2. トピックス

(1) 第2回「友の会賞」授与

- ・第1回と同様に原子力安全工学科の学部生を対象として3件
- ・発表の審査についても、第1回と同様学科の先生方に依頼する

(2) HP公開

- ・HP案を総会にて披露し、了承されれば早期に公開
- ・パスワードをかけて、会員のみ閲覧可能なファイル(名簿等)を用意する

(3) メールによる情報発信

- ・会員名簿におけるメールアドレスの整備と定期的な連絡実施

(4) イベント企画

- ・幹事会も併せて実施しては?
- ・秋頃、施設見学会(講演会)の実施(詳細は後報)
- ・見学先の案
 - ・放射線医学総合研究所、JAEA 高崎研 …加速器関係
 - ・SPEEDI見学会(昨年の総会アンケートで吉田直弘氏より提案)
- ・学園祭に合わせて懇親会(学生と卒業生の交流の場として)

3. 活動目標

会員固め/名簿の整理:卒業生の中で、まだリストに載っていない人に声をかける。会員名簿を整理する。

4. その他

- ・新入会員(学部卒業生)の登録/会費徴収の際に、総会のアナウンスをする(学位授与式までに次回総会の日程を確定しておく)

以上

原子力友の会 ~~OB~~会 会則

平成23年11月20日制定

東京都市大学・原子力友の会

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、東京都市大学原子力友の会 ~~OB~~会と称する。

この会の所在地を次の通りとする。

〒215-0013 神奈川県川崎市麻生区王禅寺 971 番地

東京都市大学原子力研究所

(目的)

第2条 本会は、^{おひび学生と}会員相互の親睦をはかるとともに、学術・文化の向上と東京都市大学（旧武蔵工業大学）の発展に寄与することを目的とする。

第2章 組織

(会員)

第3条 本会は、正会員及び特別会員をもって組織する。

2 正会員は、以下の各項のいずれかのもので、会費を納入したもとする。

- ・東京都市大学原子力安全工学科及び環境エネルギー工学科の卒業生。
- ・武蔵工業大学環境エネルギー工学科及びエネルギー基礎工学科の卒業生。
- ・武蔵工業大学の学科より武蔵工業大学原子力研究所に配属されて卒業論文を提出した卒業生。
- ・武蔵工業大学大学院原子力工学専攻及びエネルギー量子工学専攻並びに東京都市大学共同原子力専攻修了生。
- ・武蔵工業大学・東京都市大学を卒業し、本会の入会を希望し、本会の承認を得た者。
- ・東京都市大学にて研究論文を提出し学位を取得した者で、本人が入会を希望し、本会の承認を得た者。

3 特別会員は、以下のいずれかに該当する者とする。

- ・武蔵工業大学工学部エネルギー基礎工学科及び環境エネルギー工学科並びに東京都市大学原子力安全工学科に勤務歴のある教職員。
- ・武蔵工業大学原子力工学専攻及びエネルギー量子工学専攻並びに東京都市大学共同原子力専攻に勤務歴のある教職員。
- ・本会の目的に賛同し、正会員によって推薦され、本会の承認を経た者。

(役員)

第4条 本会に下記の役員をおく。

会長 1名 副会長 若干名 顧問 若干名

代表幹事 1名 幹事 10数名 監事 1名

(役員を選出)

第5条 会長、副会長、代表幹事、幹事及び監事は総会において正会員より選出する。

2 顧問は幹事会の推薦によって会長が委嘱する。

(役員職務)

第6条 役員は、それぞれ次の各号に掲げる職務を行う。

会長：本会を代表し、会務を総理する。

副会長：会長を補佐し、会長に事故ある時はその職務を代行する。

顧問：会長の諮問にこたえ、または幹事会に必要な助言を行う。

代表幹事：幹事会を代表し、会務を総括する。

幹事：代表幹事を補佐し、会務を実行する。

監事：会計監査を行う。

(役員任期)

第7条 役員任期は3年とする。ただし、再任を妨げない。

(支部)

第8条 本会のもとに「東北・東海」、「関東」、「関西・北陸」支部をおく。また、役員会の議決を経て、必要に応じて支部をおくことができる。

(幹事及び代表幹事選出)

第9条 幹事は、原則として「東北・東海」2名、「関東」9名、「関西・北陸」4名で発足し、各支部に支部長をおく。原子力安全工学科の卒業生及び共同原子力専攻修了生にあつては、それぞれ、年度ごとに幹事1名をおき、年度の卒業生を代表する。

2 代表幹事は、役員会の議を経て会長が幹事より指名する。

(事務局)

第10条 本会の事務局を東京都市大学原子力研究所内におく。

第3章 会務

(会務)

第11条 本会は、下記会務を行う。

- ・総会を毎年開催する。
 - ・役員会、幹事会を必要に応じて開く。
 - ・講演会を開催し、また見学会を実施する。
 - ・名簿の整理発行を行う。
 - ・その他、第2条の目的を達成するために必要な事業を行う。
- 「各会議の議事は、出席会員の過半数をもって決す」

第4章 学術文化基金

(設置目的)

第12条 学術文化の振興と東京都市大学（旧武蔵工業大学）及び本会の発展に寄与するために基金を設ける。

(名称)

第13条 本基金を原子力友の会学術文化基金と称する。

(運営)

第14条 基金の運営については別に定める。

第5章 会計

(経費)

第15条 本会の経費は、会費及び寄付金をあてる。

(会費)

第16条 会費として、正会員は入会時に 3000円を徴収する。

(会計年度)

第17条 会計年度は、毎年4月1日より3月31日とする。

(管理)

第18条 会計は事務局が管理する。

2 事務局は、総会において会計報告をするものとする。

(監査)

第19条 監事は総会において会計監査報告をするものとする。

(会則の改定)

第20条

本会則を改訂する場合には、役員会の議を経て、総会の承認を得るものとする。

付則

1. 本会則は平成23年11月20日より施行する。
2. 本会則は平成25年6月8日より改正施行する。

懇親会 会場：三拍子 (最寄り駅：たまプラーザ)

〒225-0002 神奈川県横浜市青葉区美しが丘 2-18-15 2F

045-902-5505

